

公認軟式野球コーチ 3 専門科目講習会カリキュラム

養成目的	競技者育成プログラムに基づき、都道府県内レベルで軟式野球競技者への基礎的・専門的な技術指導や組織の育成・指導にあたる指導者を養成する。
役割	競技者育成プログラムの指針に基づいた指導にあたるとともに、エリア内の有望競技チームの指導にあたる。また各都道府県軟式野球連盟における、軟式野球指導員の講師として指導にあたる。
受講条件	受講年度の4月1日現在満22歳以上で、都道府県軟式野球連盟の推薦を受け、全日本軟式野球連盟の承認を得た者。
カリキュラム	共通科目Ⅲ：150h 専門科目：60h
受講料	36,300円（税込）（共通科目：22,000円 専門科目：11,000円 リファレンスブック代：3,300円）
登録料（4年間）	12,000円（税込）（初回登録時のみプラス3,000円（税込））
更新のための義務研修	資格登録有効期限の4年間のうちに、最低1回は、全日本軟式野球連盟が定める研修または日本スポーツ協会（都道府県体育協会が実施する研修を含む）が実施する（認める）研修を受けなければならない。
担当委員会	全日本軟式野球連盟 資格審査委員会

区分		カリキュラム内容		時間数		
				集合	その他	計
1	種目の特性に応じた 基礎理論	①	軟式野球のコーチの役割・制度	2h	1h	3h
		②	軟式野球の歴史的発展及び国際的動向	1.5h	1h	3h
		③	野球の基本動作とコーディネーション	1.5h	1h	3h
		④	指導者としてのリスクマネジメント	2h	1h	3h
		⑤	指導者のコーチングスキル	3h	1h	4h
		⑥	野球におけるメンタルトレーニング	2h	1h	3h
		⑦	スポーツ医学概論	2h	1h	3h
		⑧	軟式野球の選手のための栄養学	2h	1h	3h
		⑨	野球のルールとマナー・フェアプレイ	2h	1h	3h
		⑩	投球・打撃のバイオメカニクス	2h	0h	2h
		⑪	ドーピング防止活動	1h	1h	2h
		⑫	成長期の女性アスリートの指導	1h	0h	1h
		小計		22h	10h	32h
2	実技	①	投手の指導スキル	1h	0h	1h
		②	捕手の指導スキル	1h	0h	1h
		③	打撃の指導スキル	1h	0h	1h
		④	守備の指導スキル	1h	0h	1h
		⑤	走塁の指導スキル	1h	0h	1h
		⑥	スポーツバイオメカニクスの実践	2h	1h	3h
		⑦	ジュニアのための指導法（投球）	2h	1h	3h
		⑧	体力トレーニングとコンディショニング	2h	1h	3h
		⑨	現場における救急処置（AED、心肺蘇生法）	2h	1h	3h
		小計		13h	4h	17h
3	指導実習	①	個人技能の指導（打撃・守備）	1h	2h	3h
		②	ジュニア指導	2h	3h	5h
		③	公式記録作成	2h	1h	3h
		小計		5h	6h	11h
合計				40h	20h	60h